

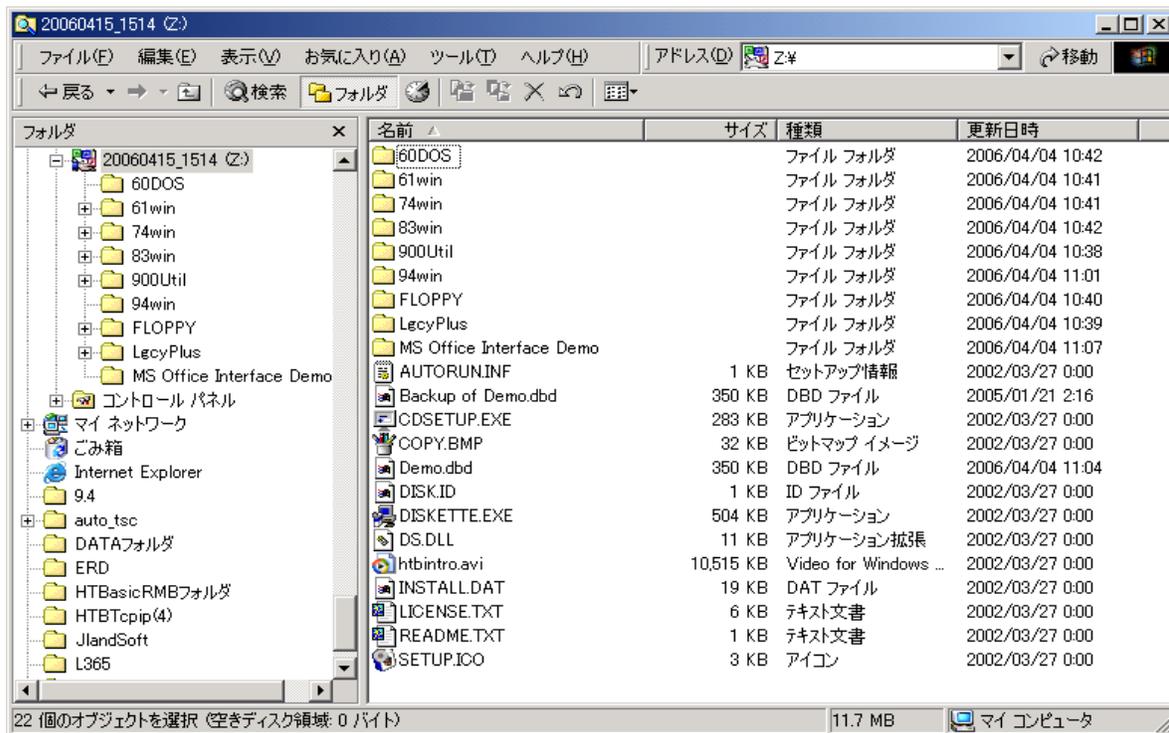
HTBasic 9 for Windows Rel.9.4

(Release note : Readme.txt)

この資料は、HTBasic for Windows Release Notes Release 9.4のreadme.txtをベースにHTBasic for Windowsの新しい仕様/特長と改善ポイントをご紹介します。

1. CD-ROMの収録内容の変更

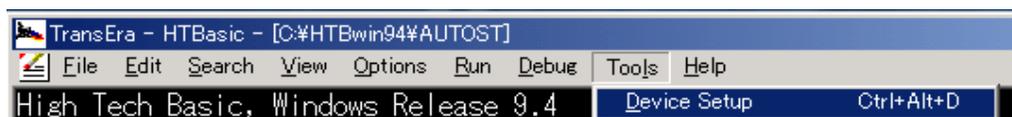
9.4の収録フォルダー名は、94winです



2. 機能拡張 :

- (1) 「USBS」ドライバーと呼ばれる新しいUSB Sici ドライバが USBTMC および USBTMC-USB488 機器をサポートするために追加されました。

メニューラインから Tools | DeviceSetup メニューで、DeviceSetup ダイアログを開き ADD ボタンを押すことにより Device Driver Selection ダイアログを開き「USBS」ドライバーを選択します。



アイネット株式会社 I²Net Co., Ltd. TEL: 03-5623-2301 FAX: 03-5623-2305

E-mail: sales@i2net.co.jp URL: http://www.i2net.co.jp/

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-1-9 川合ビル 7F

HTB Asia アジア地域正規代理店

Device Setup

Name	Versi..	Description	ISC	Details	Status
WIN	9.4	Windows Display Driver	1		Loaded
KBD	9.4	Windows Keyboard Driver	2		Loaded
PARALLEL	9.4	Parallel Interface Driver	26		Loaded
WIN-PRNT	9.4	Windows Print Manager Dr...	10	HP LaserJet 4V	Default

Device Driver Selection

Driver	Description
WIN-PRNT	Windows Print Manager Driver
SERIAL	Serial Interface Driver
GPIO600	TransEra GPIO600 Driver
GPIO650	TransEra GPIO650 Driver
GPIO900	TransEra GPIO900 Driver
GPIBNI	GPIB Interface Driver for National ...
HPIBS	HP-IB SICL Driver
USBS	USB SICL Driver

Device Setup

Name	Versi..	Description	ISC	Details	Status
WIN	9.4	Windows Display Driver	1		Loaded
KBD	9.4	Windows Keyboard Driver	2		Loaded
PARALLEL	9.4	Parallel Interface Driver	26		Loaded
WIN-PRNT	9.4	Windows Print Manager Dr...	10	HP LaserJet 4V	Default
USBS	0.0	USB SICL Driver	7		

USBS Device Properties

Device Settings

SICL Device Name: epib0

Interface Select Code: 7

Command Line Timeout: 0

Detail Text:

Load this driver at startup

Useable state (使用可能の状態)

Name	Versi..	Description	ISC
USBS	9.4	USB SICL Driver	7

```

USBS 9.4 USB SICL Driver
1EDIT 2CONTINUE3 RUN 4SCRATCH
    
```

(2) DLL Tool kit exports.h ファイル

「PutBufferByLen」と呼ぶ新しい転送機能が追加されました

この機能によりユーザーは、マルチターミネートであっても、取り込まれた長さに単に制限されるだけでHTBasic バッファにデータを入れることができます

「SetExportFunction」と呼ぶ新しいエクスポート機能が追加されました。

この機能によってユーザーは、いくつかのHTBasic イベントのためのイベントハンドラとして提供され、それらのDLLの中に機能を持たせることができるようになります。

これらのイベントは： L_BTN_DOWN、L_BTN_UP、R_BTN_DOWN、R_BTN_UP、M_BTN_DOWN、M_BTN_UP、CLEAR_SCREEN、および OnDraw です。

(3) DLL Tool kit サンプルプログラム

(注) サンプルプログラム・フォルダー → ..¥HTBwin94¥DLL Toolkit¥Samples

「HTBClipboard」が追加されました。このDLLを使用すると、ユーザーはテキストをWindows クリップボードに置き、Windows クリップボードからテキストを取り出すことができるようになります。

フォルダ	名前	サイズ	種類	更新日時
HTBClipboard	HTBClipboard.bas	6 KB	BAS ファイル	2006/04/01
HTBClipboard	HTBClipboard.dll	44 KB	アプリケーション拡張	2006/04/01
HTBClipboard	HTBClipboard.doc	21 KB	Microsoft Word 文書	2006/04/01

「HTBTcpip」は更新により新しく、より安定したサンプルとなりました。

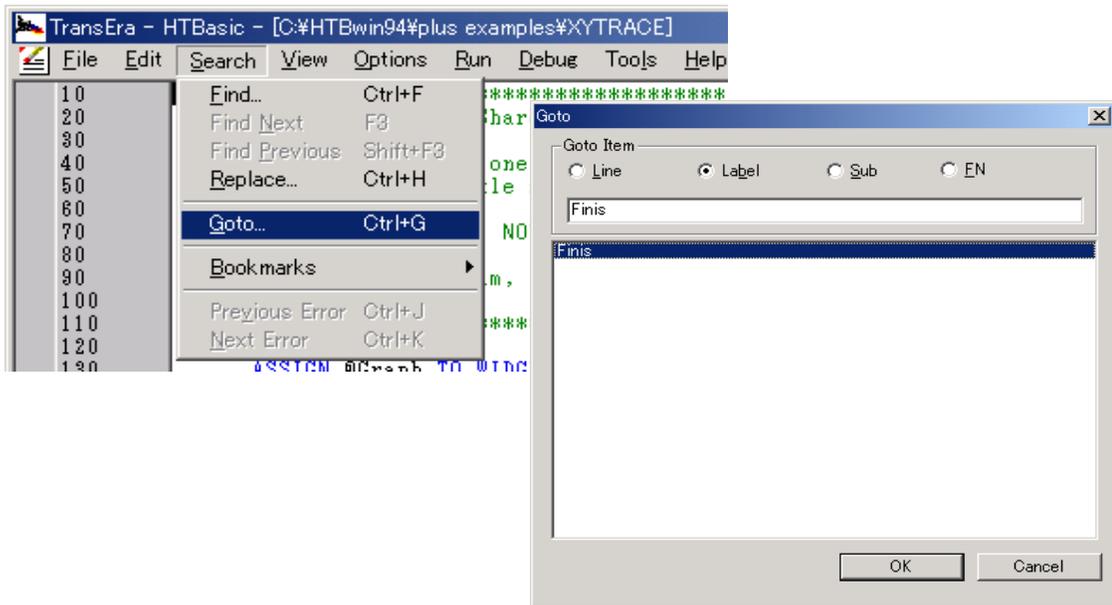
フォルダ	名前	サイズ	種類	更新日時
HTBTcpip	Complex Client.prg	11 KB	PRG ファイル	2006/04/01
HTBTcpip	Complex Server.p...	8 KB	PRG ファイル	2006/04/01
HTBTcpip	htb-tcpip.dll	136 KB	アプリケーション拡張	2006/04/01
HTBTcpip	htb-tcpip.doc	36 KB	Microsoft Word 文書	2006/04/01
HTBTcpip	Simple Client.prg	4 KB	PRG ファイル	2006/04/01
HTBTcpip	Simple Server.prg	5 KB	PRG ファイル	2006/04/01

「Basicevents」がHTBEvents フォルダに追加されました。

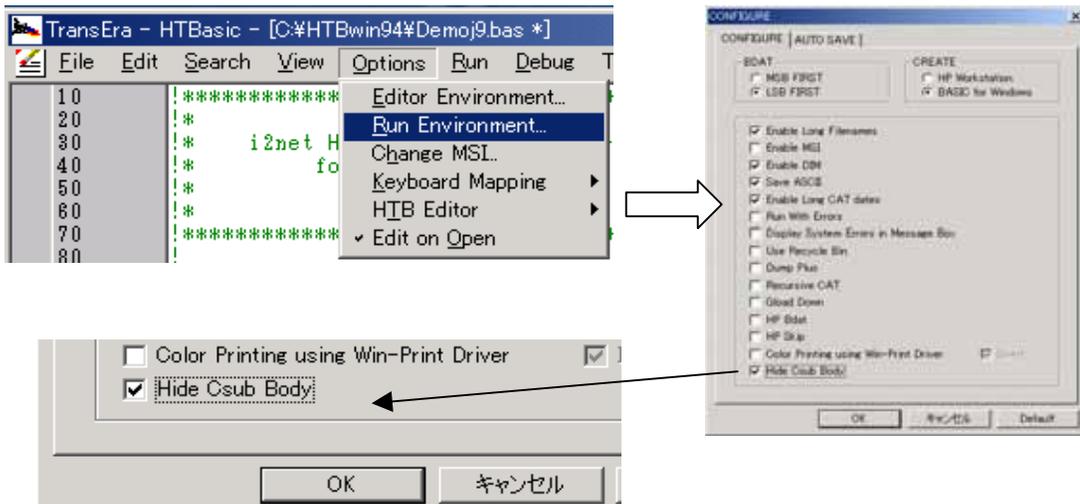
新たに追加された SetExportFunction エクスポート機能の使い方を示します。

フォルダ	名前	サイズ	種類	更新日時
HTBEvents	Basicevent.dll	144 KB	アプリケーション拡張	2006/04/01
HTBEvents	Basicevent.doc	20 KB	Microsoft Word 文書	2006/04/01
HTBEvents	Eventtest.bas	3 KB	BAS ファイル	2006/04/01

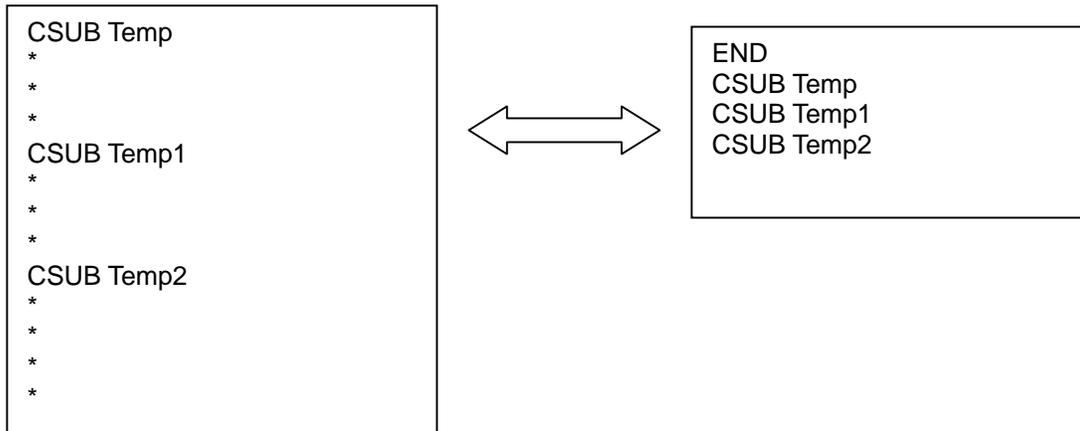
- (4) メニューラインの Search から GOTO ダイアログボックスを開き、ラジオボタンで Label がチェックされると、定義されたすべての Label の一覧を表示します。従来は Sub と FN オプションだけが一覧として表示されました。



- (5) メニューラインの Options | Run Environment で CONFIGURE ダイアログボックスに、Hide Csub Body と呼ばれる新しいオプションが追加されました。この機能は CSUB がロードされる時にプログラムライン(*)を表示するようするか、見えなくすることを可能にします。



CONFIGURE SYSTEM ("HIDE CSUB BODY") と CONFIGURE SYSTEM("SHOW CSUB BODY") を使ってコマンドラインからプログラムライン(*)を表示するようするか、見えなくすることを可能にします。



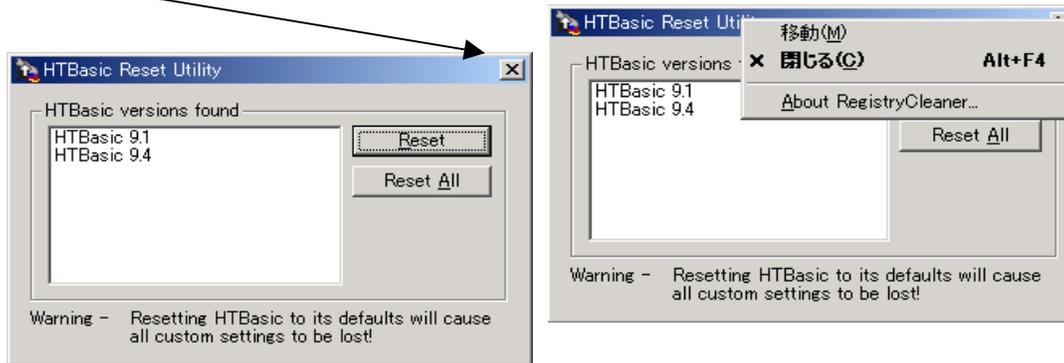
- (6) HTBasic スtringのデフォルト値が 18 文字から 255 文字に拡張されました。
例) A\$="12345678901234567890" 9.3 まで 19 桁以上を指定すると実行時
Error 18 String Overflow or Sub-string Error が出ました
(注)旧バージョンへバックワードがある場合、DIM で長さを明示してください
DIM A\$[20]

3. 修正/改善 :

9.4 では、新たに多くのテストをし、そして測定装置に関連し、GPIB と SERIAL に関するドライバーの改善があります。特に、GPIB-USB に対しては新しいドライバが提供されます。(USBS.DW6)

- (1) HTBasic は、空のプロジェクトで GOTO ダイアログを開いた時にフリーズすることはなくなりました。
注) 起動時、AUTOST 及びユーザ設定起動プログラムを読み込まないと空のプロジェクトの状態になります。
- (2) ERROR 19 は、SERIAL ドライバーを使っている時に、システムによってサポートされないカスタム・ボーレートを設定しようとする時に表示されるようになりました。従来は、ボーレートが確定されず、ドライバーは正しく動作しないが、エラー表示は出ませんでした。
- (3) バージョン 9.3 から新たに加わった **HTBasic Reset Utility.exe** に、いくつかの機能が追加されました。HTBasic のどのバージョンでも、開いているか/動作中であっても、警告が表示されるようになりました。キーボード・ショートカットが、ALT+F4 表示されるようになりました。(ALT キーを押し下げながら Function キー4)
このユーティリティを終了するために、9.3 に在った OK ボタンの代わりに閉じる(C)または

アプリケーション終了ボタン(x)があります。



(4) HTBasic リセットユーティリティ

- (a) HTBasic Reset Utility は、HTBasic の Runtime Version も示すようになりました。
- (b) HTBasic Reset Utility は、HTBasic の version が見つからない時はエラーとして表示しなくなりました。従来は、エラーメッセージが表示されました。
- (c) HTBasic Reset Utility は、HTBasic のバージョン 9.3 以降ではリセットできるように変更されています。

(5) Run Environment 中のオプションは、HTBasic が終了し再度開いた後でもチェック済みまたは未チェックの状態を保持するようになりました。従来は HTBasic を終了した後では Run Environment はデフォルトに戻ってしまいました

(6) ASSIGN ステートメントでの RETURN オプションは、すべての場合にエラーを、指定された変数に正しく戻すようになりました。従来は、FORMAT LSB FIRST または RETURN オプションの前にその他のオプションを使うと、RETURN オプションは無視されました

(7) DLL Tool kit サンプルプログラム

HTBmail はEメールのボディ部を正しく送るようになりました。従来は、非常に多くのパラメータが使われすぎ、ボディ部は送られていませんでした。

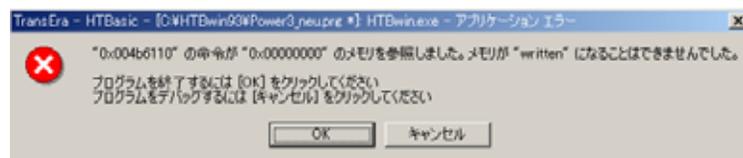
HTBFileopen は、20 以上のファイルを戻せるようになりました。従来は、どれだけ選んでも 20 以上のファイルは戻せませんでした。

(8) Tools | Secure ユーティリティと連携して LONG を使っても、ERROR 1 を発生させることはありません。従来は LONG のサイズを 60,000 から 130,000 までに設定するとエラーを発生させました

例) LONG A=65000

(9) Replace All を使ったとき、HTBasic はエラーメッセージのウィンドウを出さなくなりました。

リプレースの回数が多い場合、出ることがありました。



(10) スtring変数から LONG の変数を ENTER する時にエラーは発生しなくなりました。従来は、ERROR159 Numeric data not received が起きました。

```
例) LONG A
     DIM B$(100)
     B$="600000"
     ENTER B$:A
     PRINT A
     END
```

(11) 読み出しはできるが書き込みはできないファイルに書き込みをしようとした場合、誤ったエラー表示をしなくなりました。従来は、ERROR 183 を表示すべきところを ERROR 19 が出ていました。これは Linux または HP-UX サーバー上にのみで発生しました。

(12) BDATファイルへのリード/ライト時、EOF の位置を正しく設定されるようになりました。従来は、EOF 位置を見つけるために Windows 用の HTBasic はファイルサイズを使うだけでしたが、古いワークステーションで作成された BDAT ファイルを使う時に、これは無効な結果を発生させました。

(13) シンタックスエラーを訂正することでエラーフラグは正しくクリアされるようになりました。従来は、シンタックスエラーを訂正した後も、HTBasic が“エラーがあったこと”を引き続きレポートし、プログラムが実行されるのを許可しないことがありました。

(14) EXECUTE コマンドは、OS がキャラクタ長を何文字許可するかを決めるために正しくチェックするようになりました。98/ME では、まだ 127 文字に制限されていますが、NT のシステムでは 2045 文字まで許可するようになりました

(15) SERIAL ドライバー

- (a) SERIAL ドライバーの ENABLE INTR は、指定された割込みだけを正しく enable 出来るようになりました。従来は、どの enable される割込みが指定されていても、すべて enable になっていました。
- (b) SERIAL ドライバーの STATUS 10 は、BREAK が検出されたことを正しく表示するようになりました。従来は、BREAK により割り込みされている時、STATUS 10 は、それが割込みをする break であることを正しく示しませんでした。
- (c) SERIAL ドライバーの STATUS 9 はリファレンスマニュアルに説明されているように有効な数値に戻します。従来は、それは 0 に戻すためにハード的にコード化されました。

(16) HPIBS ドライバー

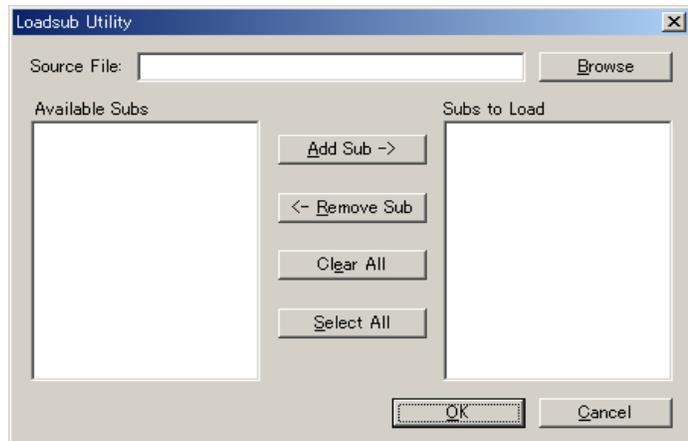
Agilent 82350 PCI-GPIB カードを使った場合、CLEAR/IO、Basic リセット、Pause 機能により中断されていることをサポートするようアップデートされました。

従来は、HTBasic は、通信が働いていない時、および上述の機能を使おうとする時にハングしました。

(注) この修正は 82350 の PCI-GPIB カードにだけ適用されます。HPIBS ドライバーを使う他のインタフェースでは従来通りドライバーが機能します

(17) キーボードショートカットが Loadsub utility に追加されました。

Loadsub utility のダイア
ゴ上で、Browse, OK, Cancel,
Clear All, Select All 等が使用
できます。



4. Htbasic HELP の修正/改善：

- (1) ERROR 番号の追加/修正
ERROR 313 Receive Buffer Overflow はヘルプファイルに表示されるようになりました。
ERROR 731 SICL library call failed がヘルプファイルに追加されました。
ERROR 1111 Invalid Calling Convention がヘルプファイルに追加されました。
- (2) Advanced Math ライブラリおよび Secure Utility のヘルプファイルは HTBasic ヘルプファイルにあります。
- (3) メニューラインの **View** の説明は HTBasic ヘルプファイルの中にあります。従来は empty dialog が出ました
- (4) CONFIGURE SYSTEM("WINPRINT COLOR ON/OFF"), CONFIGURE SYSTEM("HPSKIP ON/OFF"), CONFIGURE SYSTEM("GLOAD UP/DOWN") コマンドが HTBasic ヘルプファイルの Reference Manual に追加されています。これらのコマンドは HTBasic の以前のバージョンにあります。ヘルプファイルにはありませんでした

(5) HTBasic ヘルプファイルの welcome 画面では9種類のマニュアル全部を示すようアップデートされ、マニュアルはHTBasic ヘルプファイルに全て収録されるようになりました



- (6) KBD control register 16 は、スクロールキーを無効にするオプションを示すよう HTBasic Users Guide でアップデートされていますが、スクロールキーを ON KBD events としてトリガーすることはできません。
- (7) Control Register 160 が **Installing and Using manual** の Chapter6 WIN-PRINT control registers の中に追加されました。
このレジスタは PPA プリンタ・サポートのトグル・オン/オフができます。
- (8) serial status register 102 が **Users Guide** の Chapter 9 に追加されました。このレジスタは、指定されている ISC の com ポートを返すことができます。
- (9) SYSTEM\$(“PRINTER NAME”)オプションが **Reference Manual** の Chapter 4 に追加されました。このオプションは、PRINTER IS Device に指定されているドライバの説明を返します。
- (10) KBD Control register 211 が **HTBasic Users Guide** の Chapter 6 に追加されました。
このレジスタは NUM LOCK キーをプログラムで切り替えできるようにするものです
- (11) CONFIGURE LONGCATDATS ON|OFF および CONFIGURE ERRORSINMSGBOX ON|OFF が **HTBasic Reference Guide** に追加されました。
- (12) FOCUS の属性が **Basic Plus Manual** の String Widget に追加されました。
- (13) GESCAPE CRT,51、GESCAPE CRT,64、GESCAPE CRT,65 が **HTBasic Reference Manual** に追加されました。
- (14) 従来は逆方向の互換性だけしかなかった STRIPCHART widget and XY GRAPH Widget の Big Numbering 属性を的確に示すようにアップデートされました
- (15) “SYSTEM CLOSE” Event が **Basic Plus Manual** の中の Basic Plus System Widget のイベントリストに追加されました。

5. MS Office Interface 2.0 Demo Version

Tech Soft 社の MS Office Interface 2.0 デモ・バージョンが添付されています

以上